

県名	熊本県	商工会名	宇土市
事業者名	(株)W.JAPAN		
題名	熊本県産きくらげの新商品開発		



画像キャプション

氏名	大仁田俊之
支援テーマ	
☐	創業
☒	経営革新・事業再構築
☐	地域資源活用・新連携
☐	農商工連携・6次産業
☒	販路拡大・販路支援
☐	海外展開・海外販路開拓
☐	事業再生・再チャレンジ
☐	事業承継
☐	ものづくり
☐	雇用・労務関係
☐	資金繰り
☐	持続化補助金
☐	DX・IT化支援
☐	価格転嫁
☐	事業継続計画(BCP)
☐	その他

支援前の課題

※複数のテーマ選択可

国産きくらげは国内の流通が1割程度でほぼ中国産に頼っている。理由としては人手不足や近年の猛暑や大雨など気候変動によって栽培期間が短く生産量が減っているのも原因となっている。また、収穫してから消費まで冷蔵保存で1週間程度となることもきくらげが流通しない原因となる。当社としても乾燥きくらげの取引は増えており、FOODSTYLEKYUSYU等にも積極的に展示会等出展し、販路を増やしているが、飲食店等からは鮮度の良い国産の冷凍きくらげは需要があるのではないかとアドバイス等あった。弊社ではカット技術まではあるが、業務用冷蔵庫等完備していません機械購入や衛生管理上の施設など課題があった。

支援内容

支援内容は以下のとおりを実施

①SDGsの認定

当社は食品を取り扱う企業であり、水産関係からトマト製造まで幅広く商品を扱っており、取引先や消費者等信頼を高めることを目的にSDGsの取得を目指し、指導員と相談しながら申請書を作成し、令和6年7月にSDGsの認定を受けた。

②伴走型支援に伴う展示会等の出展

商工会を通じてFOODSTYLE KYUSYUやFOODSTYLE KANSAIへの展示会に出展し、昨年度のFOODSTYLE KYUSYUの実績として、新たな新商品「まるまるきくらげ」を商品化し販路開拓に努めた。きくらげや「まるまるきくらげ」の商談数22件 現在まで9件と取引を実施しており、2025年2月時点で500千円の売上を計上している。

③国産の冷凍きくらげ販売に向けて

ニーズのある国産の冷凍きくらげの販売に向け、新事業展開補助金の作成をおこなった。専門家を3回程度行いながら、計画書作成等を行った。(現在審査結果待ち)

支援の経過

期間	支援内容
R6年6月	新商品開発に伴う支援
R6年7月	SDGsの内容説明・申請支援
R6年7月	新商品開発に伴うパッケージデザイン等支援
R6年8月～1月	展示会出展に伴うレイアウト・装飾関係支援
R7年5月	新事業展開補助金計画書作成支援

支援内容の感想

当社は積極的に商工会に相談頂き、伴走型支援を実施している。経営努力も積極的に行い外国人雇用も行いながら基盤づくりもいっしょに持続的経営を目指している。積極的に補助金を活用しながら新商品開発に取り組むなど努力しており、今後も継続し伴走型支援を行っていききたい。